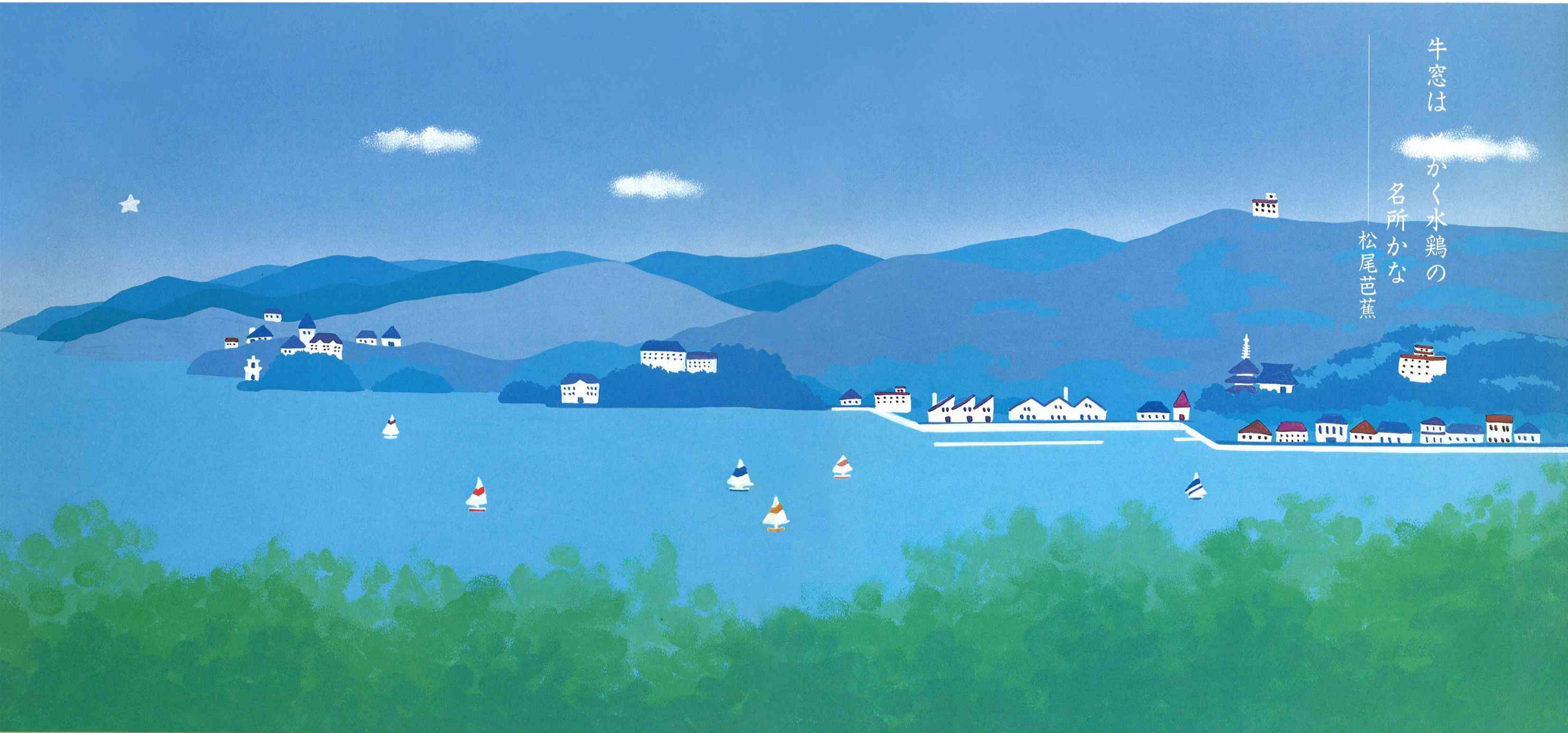


# うしまど



牛窓は、かく水鶏の  
名所かな  
松尾芭蕉



も く じ

|            |    |
|------------|----|
| 牛窓町民憲章     | 2  |
| ごあいさつ      | 4  |
| 牛窓の歴史      | 6  |
| 牛窓のひとびと    | 8  |
| 芽ぶく牛窓      | 11 |
| 支えあう牛窓     | 14 |
| 健康づくり      | 16 |
| 歴史と伝説の町、牛窓 | 18 |
| 美しの窓、牛窓    | 24 |
| 牛窓につどうひとびと | 27 |
| 躍動する牛窓     | 32 |
| 牛窓町民とともに   | 38 |
| 未来の展望      | 44 |

牛 窓 町

町勢要覧・合併30周年記念



## 牛窓町民憲章

緑と太陽と瀬戸内の美しい海に恵まれた町、牛窓。

くらしの営みの中で自然をこよなく愛し、文化を培ってきた牛窓の人々。

私たちは町民憲章を定め、美しい風土とそこに  
絢爛たる歴史を刻んできた先人達の英知に感謝  
の念を捧げるとともに、豊かな町民生活を築く  
よりどころといたします。

- 一、自然を愛し、美しい生活環境をつくりましよう。
- 一、培われた歴史と文化に感謝し、人間性の向上に努めましよう。
- 一、健康で生きがいのあるくらしを築きましよう。
- 一、働くことに誇りと喜びをもち、のびゆく豊かな町をつくりましよう。
- 一、お互いが助けあい、くらしよい町を築きましよう。
- 一、あたたかい心で人々を迎え、明るい町をつくりましよう。

光が舞う、風が歌う  
愛するふるさと、うしまどは  
私たちの心に感動を  
よびさます。



私はふるさとに帰ってきた。

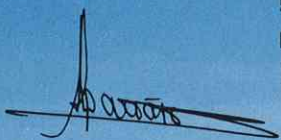
青い海とオリーブ、点在する島々……

“うしまど”はエーゲ海にのぞむ私の母国  
ギリシャを髣髴<sup>ほうふつ</sup>とさせる。この町にいと  
私は母のぬくもりと馨<sup>かぐわ</sup>しい文化と歴史に  
ひたることができる。

“うしまど”は私の心のふるさとだ。

1983年3月

ギリシア政府観光局  
駐日代表  
Dimos A. Vratsuanos  
(ディモス ヴラツアノス)



牛窓町長

新 地 勇

## ひとびとの暮らしと自然が 調和する豊かな町づくりを

かつて「美しの窓」とたたえられた牛窓町は、瀬戸内の  
温暖な気候の中で多様な地形が織りなす自然の美しさと、  
人々のたゆまない営みの結晶としての歴史と文化を培って  
きた町です。

本年は3ヵ町村が合併して満30年を迎える意義深い年で  
ありますが、これからの時代は転換の時代だといわれてお  
ります。私たちは21世紀に向って「創造で築く新たな風土」  
を町の将来像として、活力と文化とうるおいのある街づく  
りに努めていきたいと考えております。

また近年、社会経済情勢の変貌は著しく、行財政面にお  
いても、急激な需要増加をきたし、多くの重要な課題が山  
積されております。私たちはさらに町民との対話をはかり  
調和のとれた町民生活の実現を目指し、牛窓町振興計画に  
基づき積極的に取り組んでおります。

この町勢要覧は牛窓町の現状の姿を各分野にわたって集  
録したものであり、牛窓町に対するご理解を一層深めてい  
ただければ幸いです。どうか今後とも一層のお力添えをお  
願いする次第でございます。

昭和59年10月



## 牛窓はいにしえびとが瀬戸内に開いた文明の町です



伝説が息づく唐琴瀬戸



「美しの窓」とたたえられる牛窓町は、古く縄文弥生の時代にすでに人々が居住し、集落を形成していたことが、黒島貝塚や黄島貝塚などからうかがい知ることができます。また神功皇后が西国から帰還される途中この浦に立ち寄ったという伝説をはじめ数多くの伝説が語り継がれており、万葉集にも「牛窓の浪のしほさる島とよみ寄せし君に逢はすかもあらむ」と歌われるなど、由緒ある歴史が牛窓の伝統を彩っています。

さらに牛窓は内海航路の要衝として歴史の



栄華をしのばせる古い街並み

表舞台に長くその名をとどめてきました。遣唐使や江戸幕府参勤交代、朝鮮使節たちが海路上洛する時には、宿泊地として寄港。そのために当時すでに唐琴の瀬戸あたりは、「牛窓千軒」と呼ばれるほどの賑わいをみせていたといわれます。

こうした古い歴史と貴重な文化遺産を有する「歴史と伝説の町」牛窓は、昭和29年10月1日、鹿忍町、長浜村と合併、さらに翌30年には旧大宮村の一部千手地区を編入し今日に至っているのです。





つどい、語らうひとびとの笑顔に豊かな暮らしがはじけます



牛窓は年間平均気温16.6℃と温暖な気候に恵まれており、この町にくらす人々の気質もまた穏やかです。

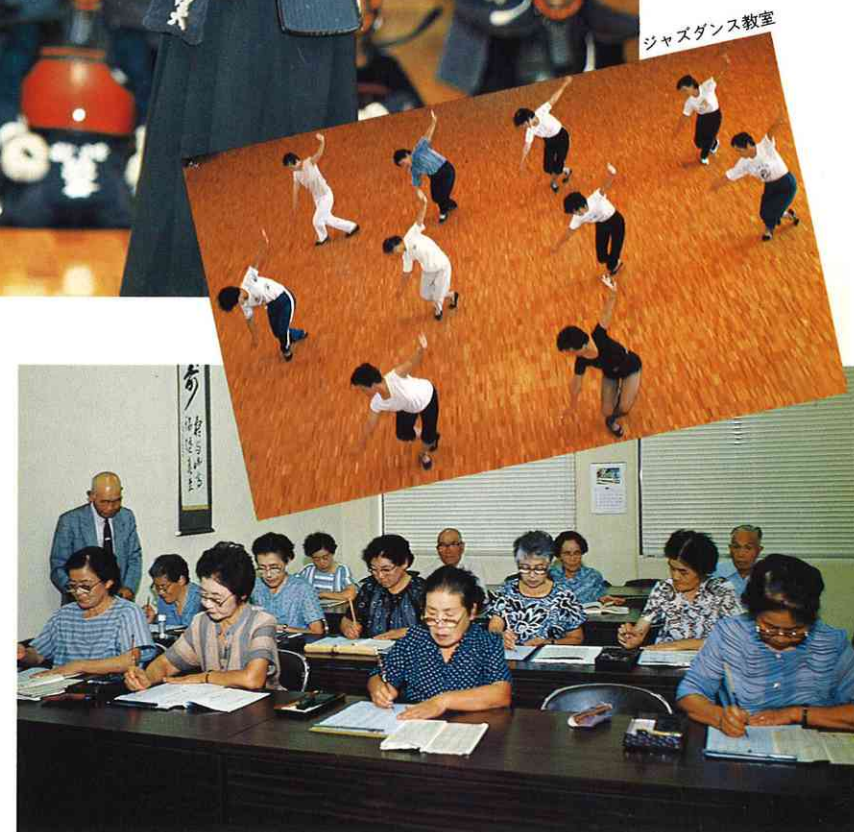
人々は生きがいのある豊かな暮らしを求めて、公民館活動や各種のグループ活動に積極的に参加し、自己啓発に努めています。牛窓町では町民のみなさんの毎日を少しでも実りあるものにとの願いから、学習の場や機会をできるだけ多くつくり出し、また施設の整備充実をはかっています。



剣道教室



油絵教室



ジャズダンス教室

書道教室



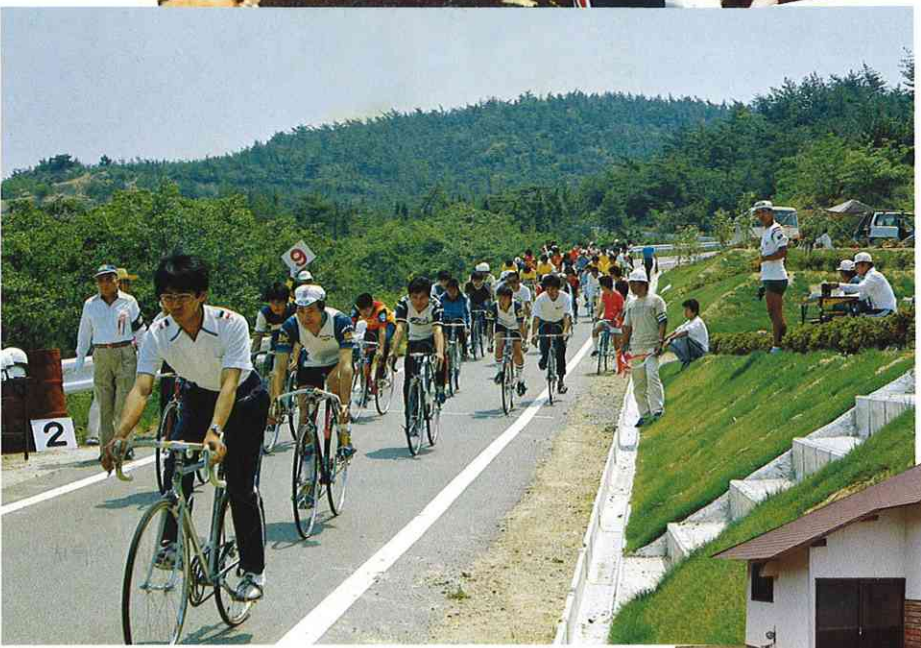
将来をたくして、小さな芽を大切に、大きく育てます



町民体育大会



健康で明るく、しかも活気にあふれた毎日こそ私たち牛窓町民の願いです。そのため町内には福祉センター、公民館、町民グランド、テニスコート、クラブハウスなどのスポーツ、レクリエーション施設を整備。あるいは四季折々にサイクリング大会や町民体育大会を開催して、健康な心身を養うとともにその活動を通じて連帯感や協調性を高めています。



サイクリング大会



クラブハウス

生きがいのある、活力に満ちた福祉社会を築くためには、優れた資質をもった人材を養成することが何より大切です。

牛窓町ではたくましいからだに豊かな知性と情操、道徳性をそなえ、なお郷土に伝えられるこの恵まれた自然と文化を愛する人間性を育くみ、さらに国際的視野に立って郷土の将来を展望することのできる町民の育成をめざしています。



学校教育は生涯教育の基礎となります。そのため児童や生徒それぞれの発育段階に応じた基礎知識や技能を身につけるのはもちろんのこと、道徳教育や勤労体験、生活指導にも情熱を傾け、知・徳・体の調和のとれた、ゆとりのある人間形成をめざします。

さらに体力の向上、健康、安全の保持、増進および地域社会との交流をはかりながら、心豊かな、充実した学校教育を実現させます。



東小学校給食風景



北小学校プール



中学校・吹奏楽練習



東幼稚園



交通安全指導



西小学校校舎



## 敬愛の心で、くらしを支えあう牛窓のひとびと



クリーン作戦

「美しい窓」牛窓にふさわしい美しく、清潔な町づくりに町民ぐるみで取り組んでいます。

クリーン作戦では、子供からお年寄りまでの町民が参加。各地区の公共広場、公園、道路などのゴミを拾い、汚れを落とします。

また、町内各地の広場、学校などを中心に、町民の手で四季折々の花を咲かせる、花いっぱい運動の輪が広がっています。

こうした運動は町の美化を促進するだけでなく、町民相互の連帯感、郷土愛を生み出す土壌にもなっています。



花いっぱい運動



福祉センター



ゲートボール

高齢化社会へ移行していくなかで、お年寄りに心身ともに健全で豊かな老後をおくっていただくために、保健医療の配慮と健康づくりの推進、老人クラブ活動、教養趣味講座などの生きがい対策はもとより、ひとりぐらし、寝たきりの老人などの方への在宅福祉の充実に努めています。



ホームヘルパー



老人のつどい

町民みんなの健康な生活を支えるとともに、お年寄りや児童、障害者など、社会的に弱い立場にある人々が、安心してくらす地域社会の実現こそ、町行政の原点です。

そのために、福祉施策の実施と相まって、町民ひとりひとりの愛と奉仕の心、お互いが支えあう心のふれあう町づくりに努めています。



## 明るく、健康な暮らしの輪が広がっています



集団検診

健康は幸せな人生の基盤であり、町民みんなの願いです。「自分の健康は自分の手で」という自覚を促すとともに、乳幼児からお年寄りまで、町民のだれもが適切な保健医療サービスが受けられるよう、福祉センター、町立病院を拠点に、単なる疾病の予防にとどまらず、町民に密着した健康相談、健康教育、栄養教室の開催、コミュニティ、スポーツの推進など、地域ぐるみの健康増進を積極的にすすめています。

老人検診



健康の維持、増進をはかるには、食生活が大切な要素となります。幸い牛窓町は、すばらしい素材に恵まれた農水産物の産地です。この豊かな素材を利用して、偏食をなくし、バランスのとれた食生活をおくれるよう、栄養教室や料理実習を実施。正しい食生活の知識、健康料理の普及に努めています。



料理教室



成人病検診



健康体操教室

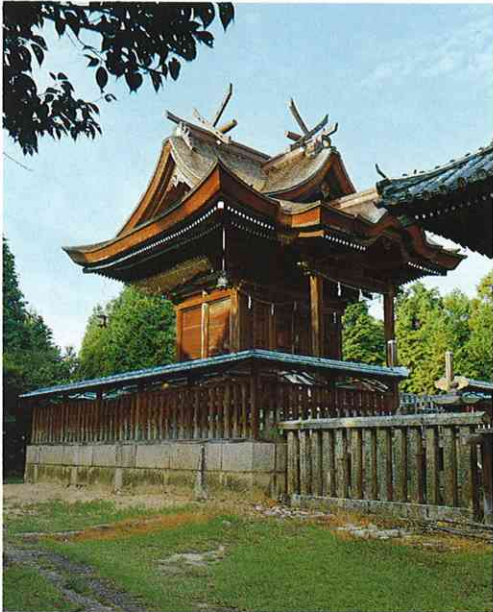


乳幼児健診



いにしえのロマンが、町のすみずみにいまでも息づいています

牛窓には絢爛たる歴史に彩られた、貴重な文化財が数多く残されています。1347年に創建され、かつて朝鮮使節の公式の宿所となった経王山本蓮寺、牛窓神社などの建造物、阿弥陀如来立像、絵馬「おかげ参りの図」、また前島の大坂城築城の残石群、点在する古墳…。そして、明治時代の旧牛窓警察署を改修した緑の村観光センターなど、かけがえのない文化遺産は、さらに次代に手渡すために、大切に保存管理されています。



牛窓神社



本蓮寺



本蓮寺本堂



千手山大門



大阪城築城の残石群



観光センター



東寿院の木造阿弥陀如来立像



牛窓には文化財として国指定のものが11件、県指定のものが10件、町指定のものが15件あります。それらの中には、神功皇后が三韓からの帰り牛窓へ立ち寄ったとき伝えたといわれる唐子踊りをはじめ、太刀踊り、粟利郷太刀踊りなど子供が主役の郷土芸能が伝えられています。

こうした祖先から受け継いだ尊い生活文化遺産は町民共有の財産として大切に保護してゆきたいものです。



唐子踊り



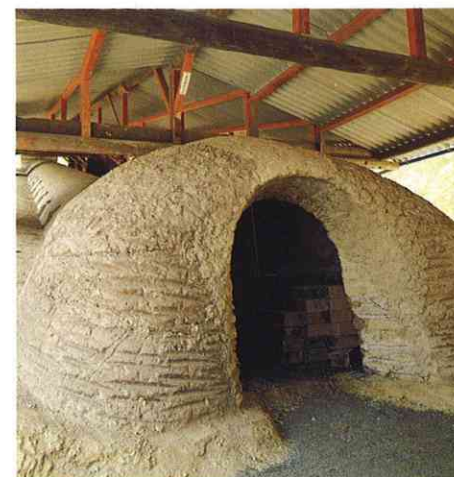
太刀踊り



粟利郷太刀踊り



牛窓だんじり



寒風陶芸の里



# 紺碧の海に緑と太陽がとけこみます

牛窓の港は今からおよそ290年前、1694年に波止場が築かれた頃から、東西の沿岸航路の主要港として発達してきました。往時には材木や備前焼、塩、魚、鉄、綿などを運搬する500～900石船が、この港を賑やかに往来したといえます。

また朝鮮使節一行や参勤交代の大名などが船で往来する時の寄港地として、重要な役目を担っていました。



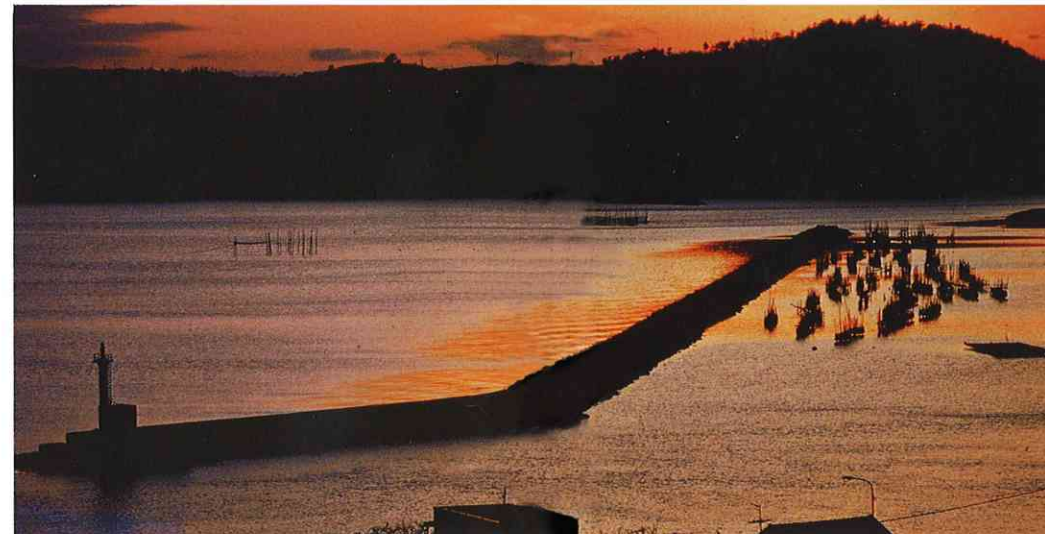
昭和初期帆船



昭和30年 関町港



昭和35年頃流下式塩田



現在 牛窓の夕暮れ

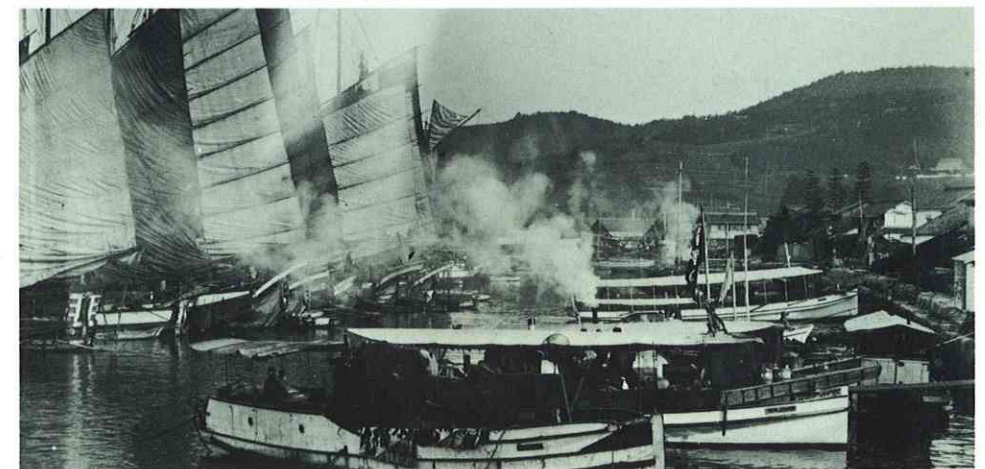


大正7年 観光センター前 乗り合いバス

## ●牛窓の鹿忍塩

牛窓地方は気候的、地形的に塩の生産に適していることから、近世になると入浜式塩田が開発され、牛窓の塩田でとれる「鹿忍塩」は“潔白美味也”として、播州赤穂の塩とともに、全国的にその名を知られていました。

昭和27年には製塩事業の近代化をはかるために流下式塩田法（枝条架を併用）を採用。現在はさらにイオン交換樹脂膜製塩法に移行して塩田は廃止されています。



大正10年 関町港早朝風景



## 海と緑と太陽のメッカ、日本のエーゲ海



ギリシャ、ミティリニ市

### ●国際姉妹都市縁組

昭和57年7月6日、日本とギリシャ両国間で初めての国際姉妹都市縁組が牛窓町とミティリニ市との間で成立し、その調印式が、“エーゲ海に浮かぶ楽園”といわれるレスボ島のミティリニ市タウンホールで行われました。

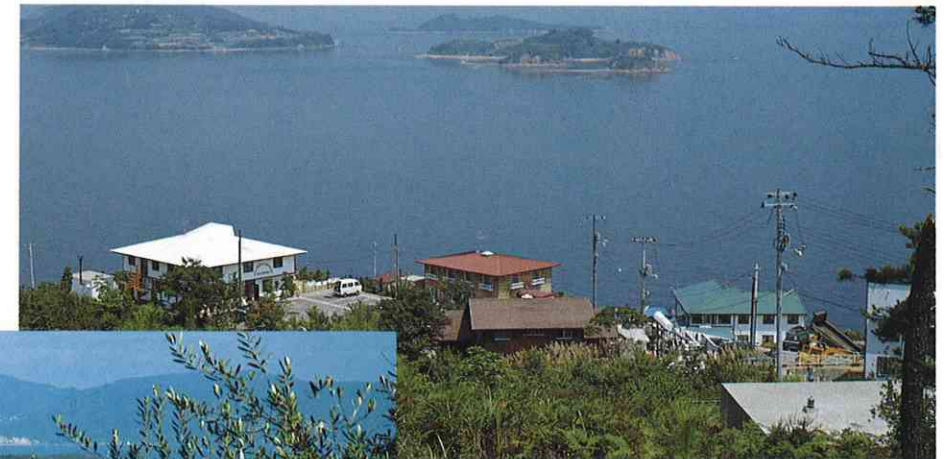
古い歴史と文化、港町としての共通性、オリーブ栽培や海などの類似点が多く、以来、“日本のエーゲ海うしまど”のキャッチフレーズとなったのです。



黒島諸島

### ●牛窓町の自然美

“うしまど”は青い空、碧い海、緑の丘や島に囲まれた自然美の宝庫。そのすばらしい自然の美しさは四季折々、あるいは刻一刻と微妙に変化し、古来から豊かな文化と人間生活を育くんできました。



オリーブ園

本土の一部と島しょ部は、瀬戸内海国立公園にも指定されており、エメラルドグリーンに輝く穏やかな海と豊かな緑が織りなす様は、人々に安らぎの心を与えてくれます。



素晴らしい自然美の中で、見知らぬひとびとが出会います



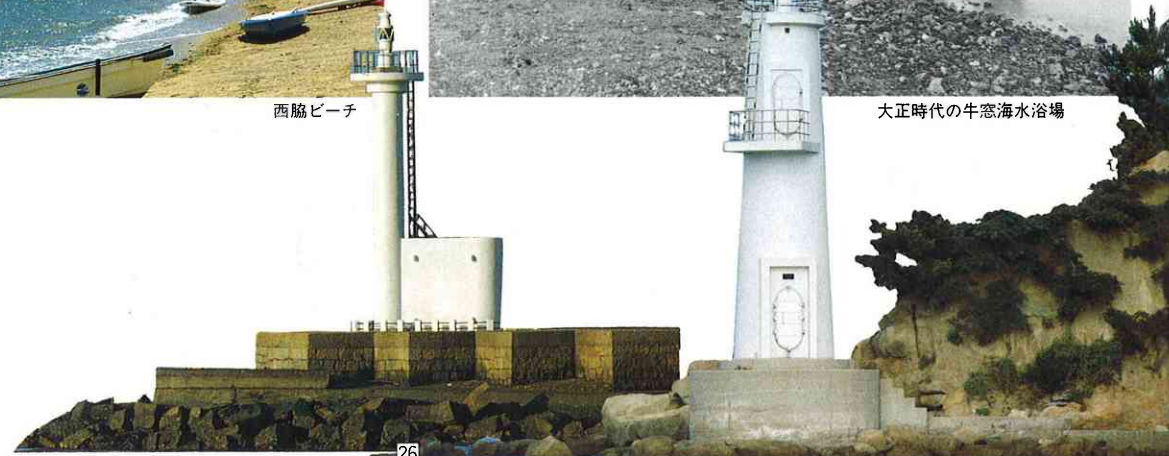
牛窓海水浴場



西脇ビーチ



大正時代の牛窓海水浴場



ウィンドサーフィン大会



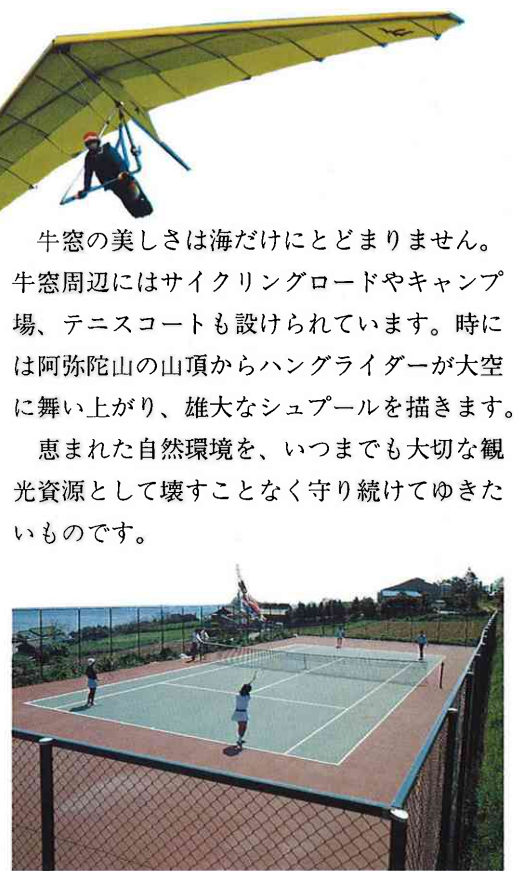
ヨットレース

牛窓の自然美は多くの人々の心をとらえて離しません。特に紺碧の海は若者や家族のレジャー基地。西脇ビーチ、牛窓海水浴場をはじめ瀬戸内海沖にも、ウィンドサーフィン、ヨットなどマリンスポーツを楽しむ人々が、京阪神、山陰、山陽の各地から集い、友情の輪を広げます。





ハングライダー大会

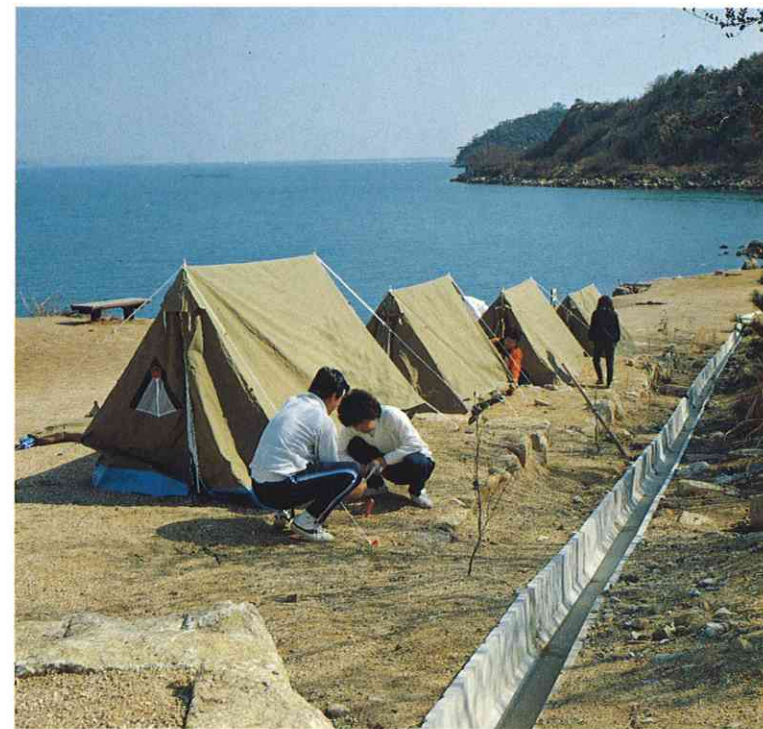


テニスコート

牛窓の美しさは海だけにとどまりません。牛窓周辺にはサイクリングロードやキャンプ場、テニスコートも設けられています。時には阿弥陀山の山頂からハングライダーが大空に舞い上がり、雄大なシュプールを描きます。恵まれた自然環境を、いつまでも大切な観光資源として壊すことなく守り続けてゆきたいものです。



港まつり



キャンプ場



サイクリングロード



中学校の交流



北海道の幌加内町とは昭和58年の母子里地区電話一般化開通の記念通話以来、さまざまな交流が続けられていますが、その一環として、母子里中学校と牛窓中学校間でも交流が行われています。





ペンション村



前島の民宿



ヨットハーバー予想イラスト

牛窓には我国最初の海浜ペンション村をはじめ国民宿舎、民宿など宿泊施設も豊富です。自然の美しさ、山海の珍味、素朴な人情が、旅人の心に安らかなひとときを織りなしてくれます。



潮干狩り



国民宿舎



## 確かな基盤づくりと豊かな発展をめざす産業最前線



産業はいつの時代にも、町民ひとりひとりが安定した、豊かな生活を築く確かな基盤とならなくてはなりません。

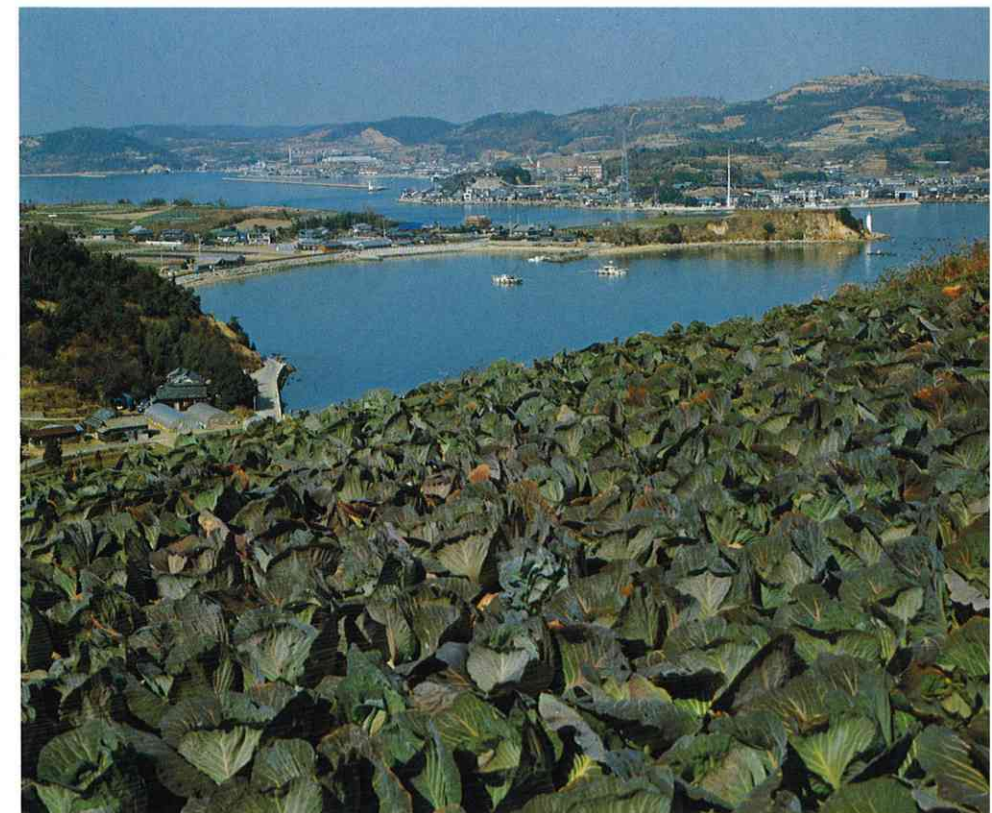
農業、漁業、商業、観光、工業の近代化をはかり、資源の確保と増殖、生産基盤の強化に努めながら、町民の知恵を出しあって産業の振興をすすめ、21世紀に向っていきいきとした活力にあふれた町づくりに取り組んでゆきます。



整備された圃場

## 農業

当町の農業は露地野菜を中心に産地形成がなされており、年二作の有効な土地利用と多品目の組合せによって、一戸平均の農家所得では県下一を誇っています。昭和63年には県営畑地帯総合土地改良事業等によって、新しく畑かん施設380ha、区画整理80ha、農道26.9kmが整備され、又地域農政総合推進事業や、農村地域定住促進対策事業等を併せて実施し、農地の汎用化を図り、生産性の高い農業へ向けてさらに大きく前進するよう幅広い対策を押しすすめております。



キャベツ畑

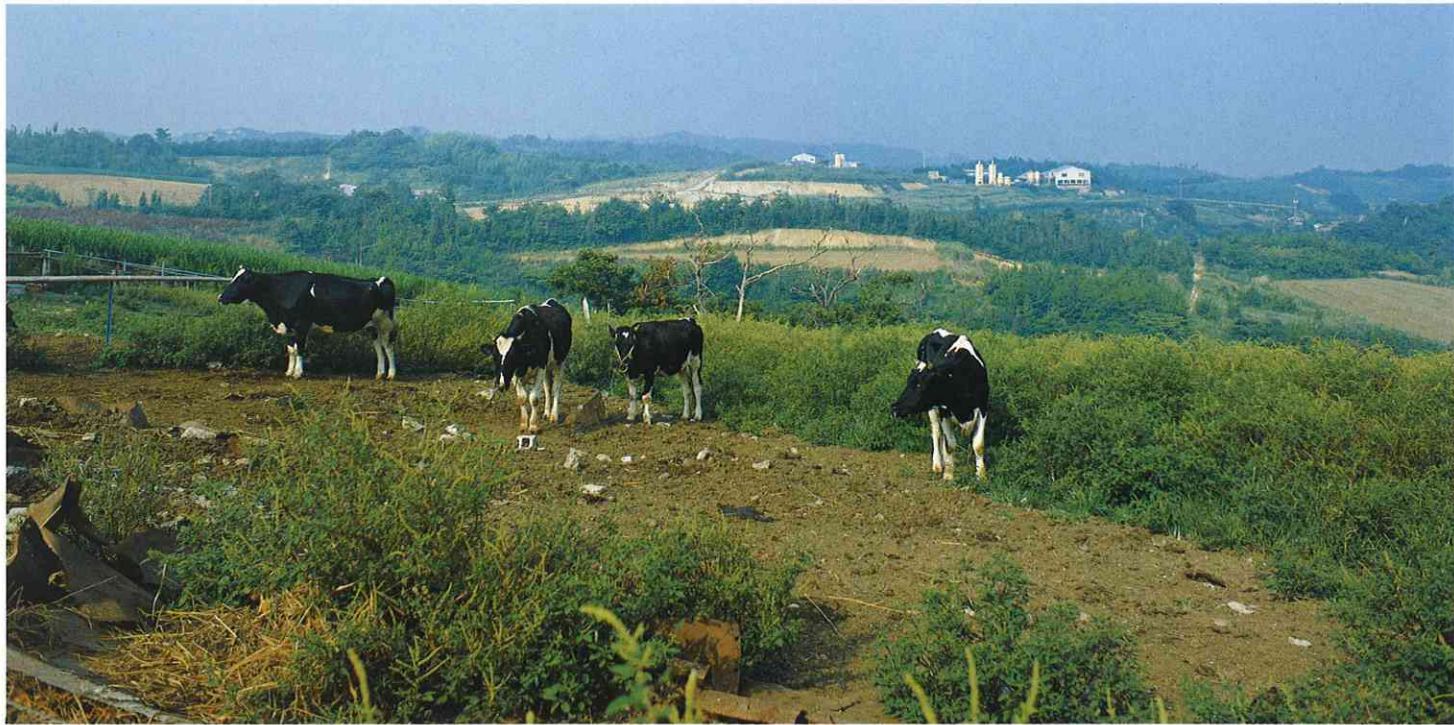


カボチャ畑



観光農園管理センター





酪農も野菜とともに牛窓の農業のひとつの柱となっています。



## 漁業

牛窓町東南部海上には大小8つの島があり海岸線は屈曲が多い。

また、海底の起伏も激しく潮流が複雑で、沿岸一帯に生息する魚類は極めて多い。主な漁場は播磨灘西部と牛窓諸島一帯で、漁業振興上恵まれた地域です。

漁船による操業は底びき網、一本釣、延縄などが今も活発に行われ、特に沿岸部は小型定置網が点在し、カキやノリの養殖も年々活況を呈しており、中でもノリは県下でも有数の産地として知られるようになりました。

さらに、毎年エビやクロダイ等の稚魚を積極的に放流し、「獲る漁業から培る漁業へ」をスローガンに将来性のある漁業への転換をはかっています。

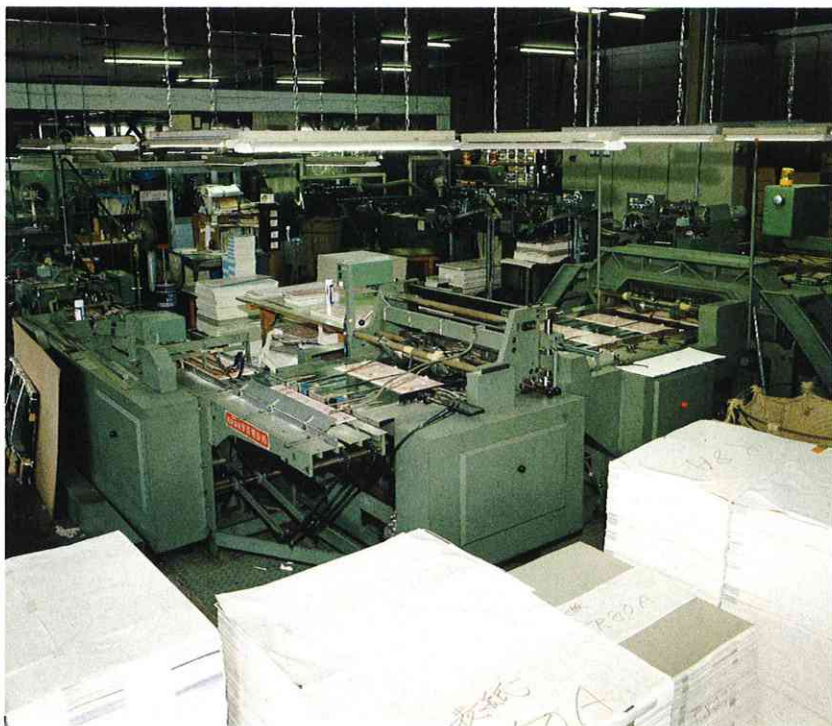
朝市場







電極製造工場全景



ノート工場



電極製造工場内部

## 工業

工場立地の条件に恵まれない牛窓町ですが、町内には中小規模の工場もいくつかあり、地域産業の中核として、経済的な面のみならず町民多くの雇用の場として、住民生活に密着し、地域の振興、発展に大きく寄与しています。



化粧品工場ショールーム



船舶工場



## 日々たゆまぬ努力で町民のくらしを支えます



圃場整備

牛窓町は、町民のみなさんの信頼に応えるために安全で快適な暮らし、健康で豊かな暮らしを支えるかずかずのサービスを提供しています。

道路網の整備、災害の防止対策、医療体制の確立、心身障害者福祉、生活環境の整備など、そのサービスは町民のくらしの多岐にわたっており、そこでは、行政と町民が手をたずさえ、助け合い、潤いのある町づくりが推進されています。



栽培漁業センター

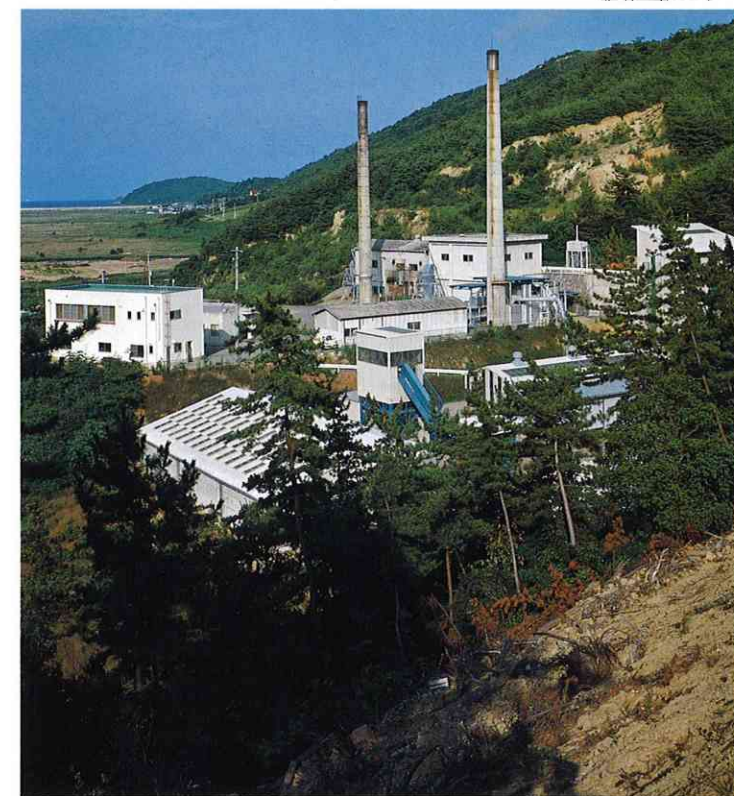


消防出初式



防災訓練

火災をはじめとする災害から、町民の生命と財産を守るため総合的な防災体制の確立に励む消防団員。



清掃施設

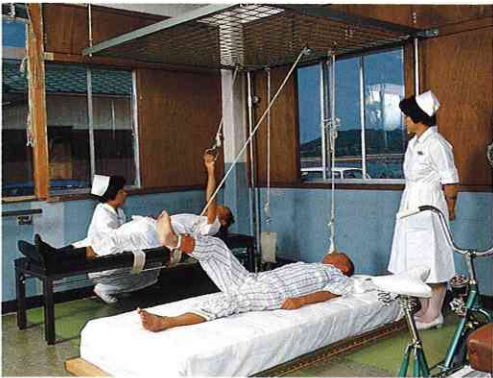




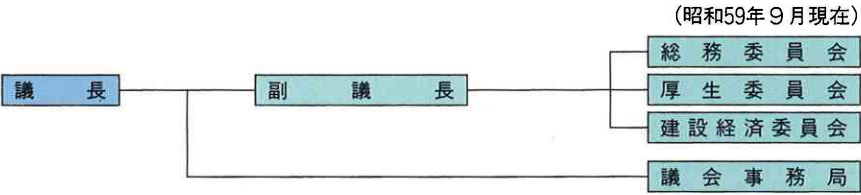
町立牛窓病院

牛窓町には医療施設として町立病院、一般診療所3ヵ所、歯科診療所2ヵ所があり、病気の早期発見、早期治療に努めています。

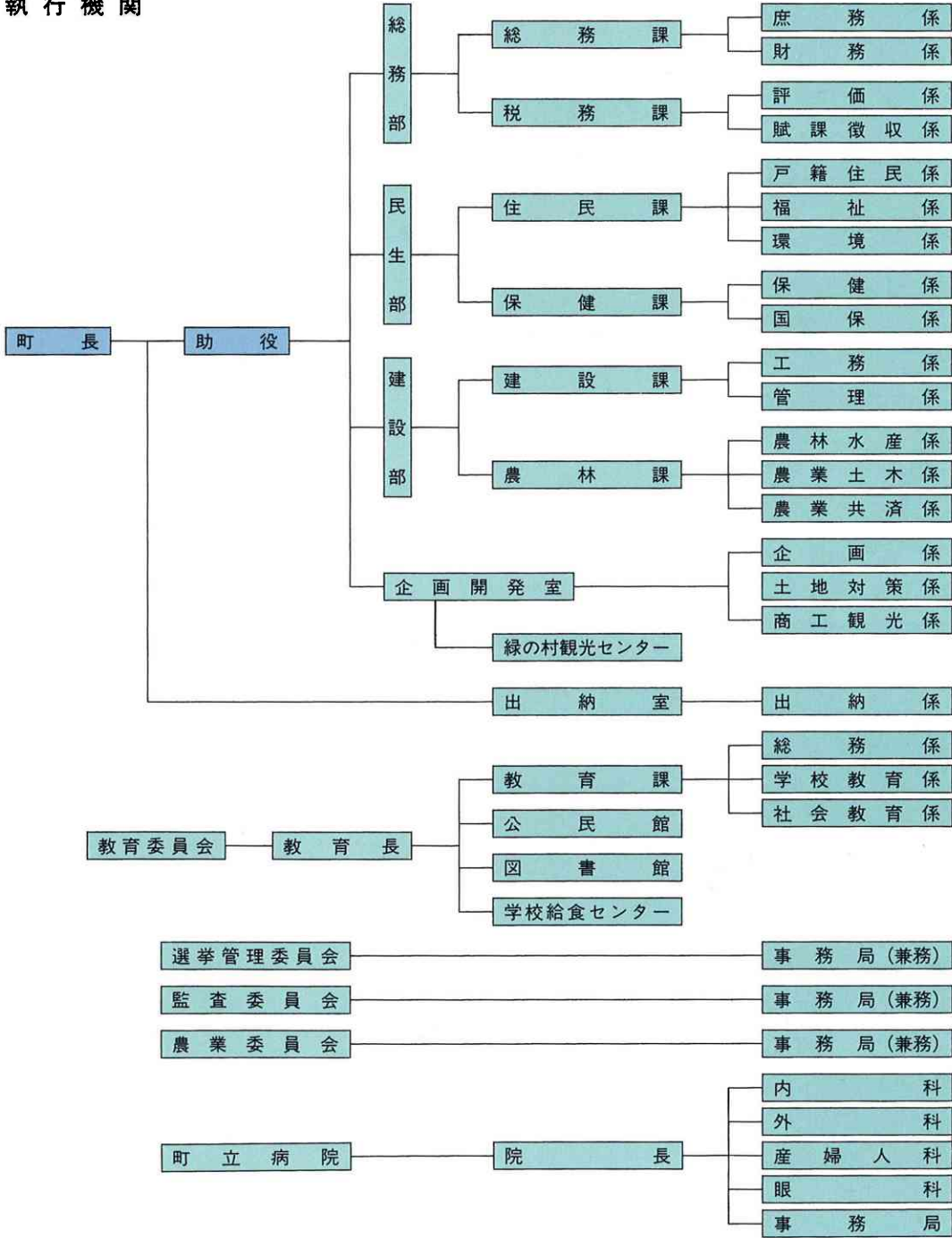
町立病院は昭和20年に開設され、現在は内科、外科、産婦人科、眼科と82の病床を有し、地域の基幹病院として町民に愛され、信頼される公的病院をめざして、日夜、業務に専念しています。



議 決 機 関  
(議員定数 18名)



執 行 機 関





町政の意思決定機関としての町議会は、現在18名の議員で構成され、年4回の定例会と必要に応じて開催される臨時会を通して、条例制定や予算の決定、決算の認定などを行い、町民の要望に応じています。

また町議会には総務、厚生、建設経済の3常任委員会と、特に重要な問題については必要に応じて特別委員会を設置し、議案や請願を審査するなかで、牛窓がかかえる幾多の難問の解決にあたっています。

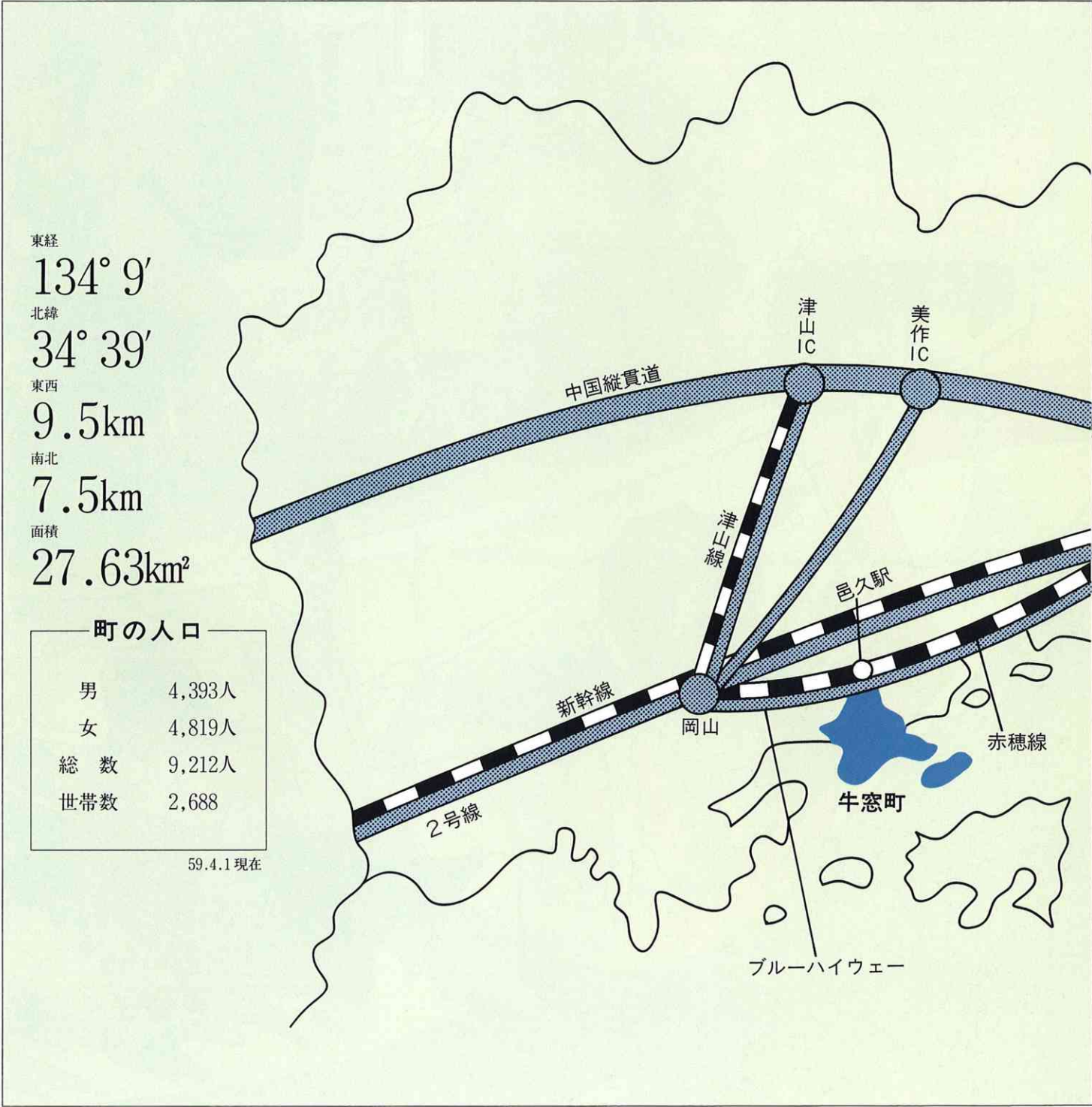


議長  
山本 史郎

| ●委員会           |      |
|----------------|------|
| 委員会            | 構成人員 |
| 総務委員会          | 6名   |
| 厚生委員会          | 6    |
| 建設経済委員会        | 6    |
| 議会運営委員         | 5    |
| 邑久牛窓清掃施設組合議会議員 | 3    |
| 邑久消防組合議会議員     | 3    |
| 邑久牛窓水道企業団議会議員  | 5    |



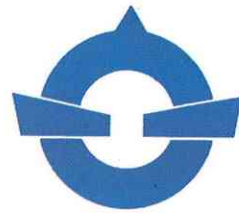
議会風景











## 町章

この町章は、牛窓町の「ウシ」を丸型に図案化して町民の和合協力性を強調、同時に左右に伸びた翼が町の飛躍発展を象徴している。

## 牛窓町勢要覧

■昭和59年10月発行

●発行／岡山県邑久郡牛窓町

●制作／株式会社 きょうせい